

極・伝・楽

める
える
しむ

第22回益城町文化祭

「人の和と芸術」を極める 伝える 楽しむをテーマとして益城町文化祭が10月20・21日に町公民館と町民体育館で展示部門、27・28日に町文化会館でステージ部門の4日間にかけて開催されました。

町文化協会(末武有二会長)が主催し、今回で22回目を数える町文化祭は、9月～12月の間に県下各地で文化活動を催す「第54回熊本県芸術文化祭」の一環として行われ、各部門から56団体が参加。



展示された作品が観客を魅了



所狭しと並べられた力作の数々

参加者は日頃の練習の成果を余すところなく披露しました。細部まで精巧に作られた作品が町公民館、町民体育館全面に並べられた展示部門では生花、水墨画、陶芸など約180点が展示されました。

その一面に展示されたのは、木を切り出しハトなどをかたどったバードカービング。微妙な羽の質感などを再現し、まるで生きていたかのような作品に観客はため息をもらっていました。町文化会館で行われたステージ部門では、北村天音さん(飯野小3年)と矢野祝子さん(益城中央小6年)の童話発表と木山中学校吹奏楽部の演奏で華やかに幕を開け、参加者は邦・洋楽、日舞、民謡吟詠など芸術性の高い磨き抜かれた舞台を披露し、観客らを魅了しました。

民謡やダンスなど練習の成果をステージいっばいに披露



益城言多会による連調 高砂より四海波